

分野	授業科目名	単元名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門分野Ⅰ 基礎看護学	41 日常生活援助技術Ⅲ	清潔の援助技術	1	20/30	1年次後期	小泉 真希子

テキスト(発行所)	基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱテキスト メヂカルフレンド社
テキスト以外の教材、参考図書	看護技術プラクティス 第4版 監修 竹尾 恵子 (学研)

学習のねらい	人が生活するうえでの清潔の意義を理解し、対象に応じた清潔の援助技術の基礎について学ぶ
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活における、衣服の役割を理解し、適切な衣服の選択および着脱の援助ができる。 2. 皮の構造などの解剖的視点や対象の生活の視点から、清潔に影響を及ぼす要因をアセスメントし、対象に応じた援助を考える視点を理解する。 3. アセスメントした内容から、対象の安全性や安楽性に留意しながら、基本的な清潔の援助が実施できる。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	なぜ人の生活に、清潔は欠かせないのだろうか？	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔の援助を通して看護すること ・清潔のケアと生体の反応 	講義
2回	衣生活と寝衣交換	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活・衣服の機能と役割 ・和式寝衣の寝衣交換 	講義 演習(実習室)
3回	身体各部の清潔:頭髪	<ul style="list-style-type: none"> ・頭皮の機能・洗淨剤の性質・洗髪の手順 ・ケリーパッド、洗髪台、洗髪車での演習 	講義 演習(実習室)
4回			
5回	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各部の清潔 手浴、爪切り 	<ul style="list-style-type: none"> ・手掌、足部、爪の特徴 ・手浴、爪切りの手順 ・手浴の手順 	講義 演習(実習室)
6回	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各部の清潔 足浴 	<ul style="list-style-type: none"> ・足浴の手順 ・足浴の演習 	講義 演習(実習室)
7回	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各部の清潔 口腔ケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔の構造と機 ・口腔ケアの手順 	講義 演習(実習室)
8回	<ul style="list-style-type: none"> ・全身の清拭 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗淨剤の効果 ・入浴と全身清拭 ・全身清拭の手順(陰部を含む)・顔面の清拭 ・全身清拭の演習 	講義 演習(実習室)
9回			
10回	<ul style="list-style-type: none"> ・統合演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を基に、清潔のケアを考えよう 	GW(実習室)

単位認定の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活援助技術Ⅲは、「排泄の援助技術」10時間と本単元20時間の計30時間のうち24時間以上の出席があること。 2. 「排泄の援助技術」30点、「清潔の援助技術」40点 「実技試験」30点(別途提示する)の合計100点満点のうち、合計60点以上で合格とする。 3. 本単元の評価方法 <ol style="list-style-type: none"> 1)学科試験:32点 2)ポートフォリオ:5点 <ol style="list-style-type: none"> ①日々の学習内容を時系列にファイルする…1点 ②日々の自己学習の証が残されている…2点 ③本科目の学びと自己の成長について、400字程度にまとめる…2点 3)課題レポート:3点 講義終了後に、フロレンス・ナイチンゲール「看護覚え書き」・第XI章身体の清潔を読み、清潔に対する自己の考えを、A4サイズ1枚に書きまとめ、ポートフォリオにファイリングして提出する。 ※ポートフォリオの提出は、終講試験翌日、12:30までに担当教師(小泉)に提出する。 4. 1と2の条件を合わせて「日常生活援助技術Ⅲ」の1単位を認定する。
---------	---

受講上のアドバイス	<p>清潔のケアは心身を爽快にさせ、生活に活力を見出し、身だしなみを整えることでその人らしさを発揮させることができますと考えます。日常生活の中で、私たちは当然のように洗顔をして朝を迎え、着替えて外出をし、入浴をして就寝をするという生活リズムが身につけていますが、健康が障害されると、思うように清潔行為が行えない状況が生じます。</p> <p>清潔の看護援助は、様々な対象に応じた清潔の援助を提供し、清潔のニーズが満たされることを目的とします。本単元では、対象にとって安全で安楽な清潔援助技術について、基本的な内容を学びます。科目の進め方は、講義と演習を中心に進めていきます。</p> <p>技術の習得は、練習を繰り返すことで向上します。放課後や空き時間を利用して、自己学習・練習の計画を立てて取り組むこともひとつです。また、科目の特性上、患者の立場で心地の良さを実感することも大切です。また、安楽な技術につなげるために、互いに感想を述べ合いながら進めることで、ケアの向上につながります。学生同士が集まって行う演習は貴重な機会です。演習の前には、学び多い機会となるよう、必ず手順を予習して臨むようにしてください。</p>
-----------	---

担当教員の 実務経験	病院で看護師としての実務経験あり
---------------	------------------